

第66回セメント技術大会

～ プログラム ～

- 日 時： 2012年5月29日(火) (9:00～16:45)
30日(水) (9:00～16:30)
論文賞表彰式 (13:15～14:45)
特別講演 (15:00～16:30)
懇談会 (17:30～19:00)
5月31日(木) (9:00～16:35)
基調講演 (9:00～10:30)
- 会 場： ホテルメトロポリタン
- 聴 講： 無料 (受付にて入場確認をさせていただきます)
- 講 演： 印刷版(A4判)：5,000円(税込み) CD-ROM版：5,000円(税込み)
要 旨 (セットでお求めの場合は 8,000円(税込み)となります)
2012年5月発行予定

※本大会は、「土木学会認定CPDプログラム」です

社団法人 セメント協会

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号 Daiwa日本橋本町ビル7階
☎ 103-0023 TEL. 03-5200-5051

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号
☎ 114-0003 TEL. 03-3914-2692 (技術情報グループ)

5月29日(火)

第1会場

[注：○印は講演者，*印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す。]

9：00～10：30 研究発表 1101～1106

[セメントの水和]

1101. 新規硬化促進型混和剤を添加したセメントの水和反応挙動解析

花王株式会社 ○川上博行
長澤浩司
佐川桂一郎
濱井利正

1102. 増粘剤の添加が普通ポルトランドセメントの水和反応に及ぼす影響

東北大学工学部 ○小野寺健人
東北大学大学院 宮本慎太郎
久田真史
太平洋セメント株式会社 細川佳史

1103. 放射光その場X線回折によるトバモライト生成過程の解析：CaO-SiO₂-H₂O系におけるAl化合物添加の影響

旭化成建材株式会社 ○小川晃博
松井久仁雄
旭化成株式会社 松野信也
東口光晴

1104. 水熱条件下トバモライト生成過程における水／固体比の影響とCSHゲルの構造

旭化成株式会社 ○松野信也
旭化成建材株式会社 松井久仁雄
小川晃博
旭化成株式会社 名雪三依

1105. Ca₄Al₂Fe₂O₁₀を用いたクロム酸イオンの固定

東京工業大学工学部 ○小西 洸
東京工業大学大学院 新大 淳一
日本大学理工学部 大宅 悦郎
東京工業大学大学院 坂井 悦郎

1106. 合成したセメント水和物による微量元素（六価クロム，ヒ素，セレン，ホウ素，フッ素及びアルミニウム）の固定化

岩手大学大学院 ○山崎裕孝
岩手大学工学部 羽原俊祐
電源開発株式会社 橋本敦美
株式会社ジェイベック 伊藤 美靖

第2会場

9：00～10：30 研究発表 1201～1206

[高強度コンクリート、繊維補強コンクリート]

1201. 各種セメントを用いた超高強度モルタルの強度及び水和特性

宇部興産株式会社 ○高橋圭太
丸屋英二
高橋俊之

1202. 高強度コンクリートの各種性状に及ぼすセメントのピーライト量の影響

三菱マテリアル株式会社 ○木村祥平
石中正人
中山英明
鳴瀬浩康

*1203. 超高強度セメントペーストの若材齢自己収縮メカニズムに関する研究

名古屋大学環境学研究科 ○寺本篤史
丸山一平

1204. Deformational Behavior of Ultra High Strength Fiber Reinforced Concrete under Repeated Impact Loadings

横浜国立大学大学院工学府 ○Abrham G. TAREKEGN
横浜国立大学大学院 椿 龍哉

1205. 熱養生履歴が超高強度コンクリートの圧縮強度と水和反応に及ぼす影響

日本大学理工学部 ○佐藤正己
梅村靖弘

1206. 高強度混和材を用いた超高強度プレキャストコンクリートの製造の検討

住友大阪セメント株式会社 ○高田貴夫
小出昌夫
草野昌夫
昭和三宮 澤 夫聡

〈休憩 10：30～10：45〉

〈休憩 10：30～10：45〉

5月29日(火)

第1会場

10:45~12:15 研究発表 1107~1112

[セメントの水和]

1107. C_3S および $\beta-C_2S$ のC-S-H構造形成における水和シリケートモノマーの役割

北海道大学大学院工学院 北海道大学工学部 北海道大学大学院工学研究院 財団法人電力中央研究所	○栗名 湊	服部 廉 村友 友 和豊 春 大輔 太
---	-------	------------------------------

1108. 白色セメントのC-S-H構造形成における水和シリケートモノマーの役割

北海道大学大学院工学院 財団法人電力中央研究所 北海道大学大学院工学研究院 北海道大学大学院	○黒湊 名 服	澤利 仁 大輔 大 和豊 春 部廉 太
---	---------	------------------------------

1109. ビーライトから生成されるC-S-Hの比表面積に関する検討

新潟大学自然科学研究科 新潟大学工学部	○土須 斎	田伯 詩 田竜 裕 藤竜 哉 藤豪 彦
------------------------	-------	------------------------------

1110. セメント系硬化体の水和物の水蒸気吸着量に関する研究

新潟大学自然科学研究科 新潟大学工学部	○須佐 斎	田伯 裕 藤竜 哉 藤豪 彦
------------------------	-------	----------------------

1111. カルシウムアルミネート系水和物の物理的性質に関する基礎的研究

新潟大学工学部 新潟大学大学院	○寺齋 須	戸伯 政 藤竜 成 田豪 彦 裕哉 彦
--------------------	-------	------------------------------

1112. セメントペースト硬化体とシリカフェームまたは高炉スラグ微粉末のポズラン反応に伴う水和組織の変化

帝京科学大学	○浅賀 喜与志
--------	---------

第2会場

10:45~12:00 研究発表 1207~1211

[ポーラスコンクリート]

1207. 初期養生方法がポーラスコンクリートの圧縮強度発現に与える影響に関する実験的研究—夏季屋外暴露養生に関する実験—

三重大学工学部	○河合 純 三島 直 畑中 重 生光
---------	-----------------------------

1208. ポーラスコンクリートにおける空隙率と透水係数に関する研究

太平洋セメント株式会社 首都大学東京 首都大学東京大学院	○梶尾 聡 國府 勝 上野 敦 宇治 公
------------------------------------	-------------------------------

1209. がいしを粗骨材としたポーラスコンクリートの調査設計手法

熊本大学大学院	○武田 浩 村上 二 山口 聖 池崎 信 智美
---------	-------------------------------------

1210. 吸光度とRGB値を用いた天然ゼオライト混和ポーラスコンクリートのメチレンブルー吸着特性の評価

秋田大学大学院 福田ヒューム管工業株式会社	○松田 充 徳重 英 川上 信 鈴木 洵 弘実
--------------------------	-------------------------------------

1211. 凍結融解作用を受ける天然ゼオライトを用いたポーラスコンクリートのスケーリングと残留ひずみ

秋田大学大学院	○徳重 英 木村 信 川上 洵 渉洵
---------	-----------------------------

12:00~12:20 協会からのお知らせ

〈昼休み 12:15~13:15〉

〈昼休み 12:20~13:15〉

第3会場

10:45~12:15 研究発表 1307~1312

〔耐久性（塩害・鋼材腐食）〕

1307. スラグ添加セメント硬化体中における塩化物イオン
拡散モデリング

北海道大学大学院	○合	田	義
北海道大学大学院工学院	岩	浅	大
	名	和	豊
	胡桃澤	清	春

1308. 粒度分布を制御したCaO・2Al₂O₃を混和したセメン
ト硬化体の基礎物性及び塩化物イオン固定化能力

電気化学工業株式会社	○田	原	和	人
	宮	口	克	一
鹿児島大学大学院	山	口	明	仲
	武	若	耕	司

1309. コンクリート中の鉄筋腐食速度に及ぼす内部ひび割
れの影響に関する研究

愛媛大学大学院	氏	家	勲
	岡	崎	慎一郎
	村	上	展
	○中	野	泰

1310. 海水中に含まれる共存イオンがコンクリートの塩化
物イオン浸透性に及ぼす影響

東京理科大学理工学部	○三	田	勝	也
	加	藤	佳	孝

1311. RC部材における腐食生成物の力学的特性に関する研究

中央大学理工学部	○後	藤	成	道
中央大学理工学研究科	足	助	美	岐子
中央大学理工学部	大	下	英	吉

1312. 鉄筋腐食率に基づく腐食ひび割れ幅推定手法に関する
研究

中央大学理工学研究科	○足	助	美	岐子
中央大学理工学部	大	下	英	吉

〈昼休み 12:15~13:15〉

5月29日(火)

第1会場

13:15~14:45 研究発表 1113~1118

[セメント・モルタルの性質と物性]

1113. 鉱物組成の調整によるクリンカー焼成温度低減に関する検討

株式会社トクヤマ ○茶 林 敬 司
永 田 宏 志
中 村 明 則
加 藤 弘 義

1114. 高エーライトセメントの諸物性

法政大学大学院 ○橋 本 亮 良
株式会社デイ・シイ 浅 井 壯
法政大学デザイン工学部 鯉 瀧 清
溝 瀧 利 明

1115. クリンカー中の酸化セリウムがセメントの諸物性に及ぼす影響

三菱マテリアル株式会社 ○原 田 匠
田 中 久 順
山 下 牧 生
中 西 陽 一 郎

1116. TiO₂およびMgOがクリンカー鉱物組成およびセメント物性に及ぼす影響

株式会社トクヤマ ○茶 林 敬 司
中 村 宏 明 則
加 藤 弘 義
佐 田 香 織

1117. 非晶質物質の生成を考慮したアルミネート相の水和反応解析

北海道大学大学院工学院 山 本 準 紀
北海道大学工学部 ○畠 山 和 豊 葵
北海道大学大学院工学研究院 名 和 豊 春
財団法人電力中央研究所 湊 大 輔

1118. 高比表面積の高炉スラグ微粉末を用いた高硫酸塩スラグセメントの強度性状について

足利工業大学工学部 ○宮 澤 祐 介
横 室 祐 介

第2会場

13:15~14:45 研究発表 1212~1217

[コンクリート舗装]

1212. 高炉徐冷スラグ粗骨材を使用したRCCPの施工

住友大阪セメント株式会社 ○林 口 幸 子
住友金属工業株式会社 赤 羽 健 一
住金鉱化株式会社 紙 田 晋
大林道路株式会社 鈴 木 徹

1213. 石灰石骨材を使用した舗装コンクリートの基礎性状

三菱マテリアル株式会社 ○黒 岩 義 仁
高 尾 村 祥 平
木 村 祥 平

1214. L型コンクリートブロックの積雪寒冷地道路舗装への適用

北海道大学大学院工学院 高 井 康 宏
北海道大学大学院 ○杉 山 隆 文

1215. 舗装用ポーラスコンクリートにおける空隙率と強度に関する研究

太平洋セメント株式会社 ○梶 尾 聡
首都大学東京 國 府 勝 郎
首都大学東京大学院 上 野 治 公
宇 野 治 公

1216. 舗装用超硬練りコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす飽水度の影響

太平洋セメント株式会社 ○井 坂 幸 俊
石 田 征 男
上 田 宣 人
上 野 敦 敦

1217. 寒冷地での舗装用超硬練りコンクリートのスケーリング抵抗性に及ぼす気泡組織の影響に関する実験的検討

太平洋セメント株式会社 ○石 田 征 男
井 坂 幸 俊
上 田 宣 人
上 野 敦 敦

<休憩 14:45~15:00>

<休憩 14:45~15:00>

第3会場

13 : 15～15 : 00 研究発表 1313～1319

〔耐久性 (中性化)〕

1313. 炭酸化反応速度の有限性を考慮したコンクリートの中性化速度解析

北海道大学 ○市川恒樹
太平洋セメント株式会社 細川佳史

1314. 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの養生条件および圧縮強度が中性化に与える影響

公益財団法人鉄道総合技術研究所 上原元樹
鶴田孝司
○玉井讓
佐藤隆恒

1315. 高品質フライアッシュを用いたコンクリートの中性化特性

大分大学大学院 ○伊藤七恵
大分大学工学部 佐藤嘉昭
株式会社ゼロテクノ 大谷俊浩
上田賢司

1316. 超臨界CO₂と接したセメントペーストの炭酸化進行モデルの構築

東京大学大学院 ○蓑毛宏明
石田哲也
高橋佑弥

1317. スランプが異なるコンクリートの材料分離と促進中性化試験結果

独立行政法人土木研究所 ○古賀裕久
山田宏志
太平洋セメント株式会社 渡辺博一
松本健一

1318. 薄板モルタル供試体を用いた中性化環境の評価に関する基礎的検討

新潟大学工学部 佐伯竜彦
新潟大学大学院 ○山田猛生
菊地道豪
新潟大学工学部 斎藤豪

* 1319. 通電処理がフライアッシュコンクリートの物性に与える影響

徳島大学大学院 ○上田隆雄
和歌山県 小村泰一
徳島大学大学院 塚越雅幸
電気化学工業株式会社 七澤幸章

〈休憩 15 : 00～15 : 15〉

5月29日(火)

第1会場

15:00~16:45 研究発表 1119~1125

[セメント・モルタルの性質と物性]

1119. 水和によるセメントペーストの粘度変化特性に関する研究

琉球大学大学院	○赤嶺糸織
琉球大学工学部	伊波田義智
太平洋セメント株式会社	細川佳史

1120. セメント粒子の凝集状態がセメントペーストの流動特性に及ぼす影響

琉球大学大学院	○伊波咲子
琉球大学工学部	赤嶺糸織
	山田義智

1121. レオロジーモデルに基づく濃厚系凝集サスペンションのフラクタル次元の推定

北海道大学大学院	○後藤卓
北海道大学大学院工学研究院	名和豊春

1122. 高間隙相セメントの流動性と水和特性

東京工業大学理工学研究科	○荻野正貴
宇部興産株式会社	新坂井悦郎
	丸屋英二

1123. グラウト材の鮮度(風化度)が流動性に与える影響と長期間貯蔵する際の対策

宇部興産株式会社	○高橋恵輔
	大野晴巳
	平野義信
	戸田靖彦

1124. 空気量の違いがモルタルの水浸透挙動におよぼす影響に関する一考察

株式会社太平洋コンサルタント	芳賀和子
群馬大学大学院	半井健一郎
公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター	大和田仁
株式会社太平洋コンサルタント	○黒澤真一

1125. イタリアの遺跡にて採取された消石灰モルタルの分析

金沢大学大学院	○石田聡史
金沢大学フレスコ壁画研究センター	五十嵐心一

(終了 16:45)

第2会場

15:00~16:45 研究発表 1218~1224

[コンクリートの試験方法]

1218. Torrent法透気試験により評価される表層透気係数に関する再考

財団法人電力中央研究所	○蔵重勲
	廣永道彦

1219. コンクリートの打継ぎ界面近傍における骨材分布の特徴に関する考察

秋田県立大学大学院	○佐藤あゆみ
秋田県立大学システム科学技術学部	山田寛次
	石山智

1220. 水の流下試験によるコンクリート構造物の表層品質評価に関する研究

東京大学大学院	○家辺麻里子
東京大学生産技術研究所	岸利治
公益財団法人鉄道総合技術研究所	西尾荘平
	上田洋

1221. 逆解析手法を適用した赤外線サーモグラフィ法の内部探査結果の精度向上を目的とした基礎的研究

愛知工業大学工学部	○関俊力
	山田和夫

1222. 支圧荷重を受けるコンファインドコンクリートの変形特性に関する研究

愛知工業大学工学部	○小野晃
	関俊力
	山田和夫

1223. 押し抜き型枠コンクリートの割裂引張強度に関する実験検討

足利工業大学工学部	黒井登起雄
	○松村仁夫

1224. Consideration about difference concrete specimens and stress-strain curve

日本大学理工学部	○大辻浩輔
ものづくり大学技能工学部	中大善久
フジミ工研	大塚秀三
	春山信人

(終了 16:45)

5月30日(水)

第1会場

9:00~9:45 研究発表 2101~2103

[製造技術、その他]

2101. 原料ミル排石ラインからの高精度金属異物除去システムの構築

宇部興産株式会社 ○北村 健人
久保 英計
株式会社アーステクニカ 武永 介章
加藤 由

2102. 高炉スラグおよび転炉スラグを原料に用いたクリンカの鉱物組成に関する検討

新日鐵高炉セメント株式会社 ○大塚 勇介
平本 真也
植木 康知
檀 康弘

2103. 燃焼シミュレーションによるセメントキルンでの廃プラ有効利用

三菱マテリアル株式会社 ○王庭 俊柱
坂山 大輔
高山 佳典
島 裕和

9:45~10:30 研究発表 2104~2106

[コンクリート製品]

2104. 各種結合材を用いたコンクリートの力学的特性に及ぼす高温履歴と養生条件の影響

長崎大学大学院 ○佐々木 謙二
岡野 耕大
株式会社ヤマウ 原田 哲夫
片山 山強

2105. 白華再現方法に関する検討

住友大阪セメント株式会社 ○福岡 紀枝
丸栄コンクリート工業株式会社 酒井 直樹
東洋大学理工学部 福手 勤
住友大阪セメント株式会社 齋藤 尚

2106. 蒸気養生がフライアッシュセメントの水和反応と細孔構造に及ぼす影響

日本大学大学院 ○鏡 健太
日本大学理工学部 佐藤 正己
梅 村 靖弘

<休憩 10:30~10:45>

第2会場

9:00~10:30 研究発表 2201~2206

[耐久性 (化学的侵食・溶脱、ASR)]

2201. 北陸地方を代表する反応性骨材2種のアルカリシリカ反応性の特徴とその抑制対策

株式会社太平洋コンサルタント ○広野 真一
金沢大学大学院 蟹谷 真生
京都大学大学院 西澤 彩
金沢大学理工研究域 鳥居 和之

2202. 桜島における流下土砂を細骨材として用いた海洋環境下におけるコンクリートの耐久性について

鹿児島工業高等専門学校 ○宮木 宏一郎
大原 涼平
池田 正利

2203. 高炉スラグを混和したアルミナセメント硬化体の耐硫酸性に及ぼす水粉体比の影響

東京工業大学 ○杉山 友明
電気化学工業株式会社 田原 和人
盛岡 実郎
東京工業大学 坂井 悦郎

2204. コンクリートの硫酸劣化の進行に混和材が及ぼす影響

広島大学大学院 河合 研至
○大亀 寛
波多野 裕
梶 智恵

2205. 低濃度の硫酸の作用に伴うセメント水和物の相組成変化に関する考察

東北大学大学院 ○宮本 慎太郎
太平洋セメント株式会社 細川 佳史
東北大学大学院 皆川 浩
久田 真

2206. 硫酸マグネシウム溶液に曝露したセメント種類の異なるモルタル試験体の微細構造分析

太平洋セメント株式会社 ○北澤 健資
細川 佳史
小川 彰一

<休憩 10:30~10:45>

第3会場

9:00~10:30 研究発表 2301~2306

〔コンクリートの物性 (収縮)〕

2301. コンクリートの乾燥収縮特性におよぼす骨材の影響

和歌山工業高等専門学校	中 本 純 次
西日本旅客鉄道株式会社	○正 木 登 亮
和歌山工業高等専門学校	高 木 啓 太

2302. 栃木県産の硬質砂岩砕石を用いたコンクリートの乾燥収縮特性

足利工業大学総合研究センター	○中 根 政 範
足利工業大学工学部	黒 井 登 起 雄
	松 村 仁 夫

2303. 配合および骨材の物性によるコンクリートの乾燥収縮予測

宇部興産株式会社	○大 和 功 一 郎
	桐 山 宏 和
	緒 方 満 成
	大 西 利 勝

2304. 各種細骨材を使用したモルタルおよびコンクリートの乾燥収縮性状

三菱マテリアル株式会社	○佐々木 憲 明
	後 藤 貴 弘
	中 山 英 明
	中 里 剛

*2305. セメントの種類と温度履歴が膨張モルタルの膨張性能に与える影響

岐阜大学工学部	○小 澤 満 津 雄
岐阜大学大学院	小 林 晋 吾
岐阜大学工学部	森 本 博 昭
電気化学工業株式会社	栖 原 健 太 郎

2306. 熱力学的アプローチによる多孔体の乾燥収縮モデルの構築

北海道大学工学部	古 川 洋 介
	○新 栞 雄 輔
北海道大学工学院	後 藤 卓
北海道大学工学研究院	名 和 豊 春

〈休憩 10:30~10:45〉

5月30日(水)

第1会場

10:45~12:00 研究発表 2107~2111

[コンクリートの物性]

2107. 有効高さが異なるRC梁とCPC梁の曲げひび割れ幅

電気化学工業株式会社 ○栖原健太郎
前橋工科大学社会環境工学科 岡村雄樹
前橋工科大学 辻幸和
電気化学工業株式会社 吉野亮悦

2108. フィルタースタビリティを考慮したILブロック舗装における敷砂の透水性能に関する検討

東京農業大学地域環境科学部 竹内康親
東京農業大学大学院 ○林寛親
太平洋セメント株式会社 橋本真幸
松本健一

2109. PVA混和剤及びフライアッシュがFRCCのひび割れ自己治癒性状に与える影響に関する研究

東北大学大学院 ○山田洵
国府田まりな
西脇智哉
三橋博三

2110. クリンカー骨材を用いたコンクリートの自己治癒性に関する実験的研究

宇都宮大学工学部 藤原浩巳
丸岡正知
○星山仁篤

2111. 細骨材を核とした自己治癒材料造粒物を用いたモルタルに関する一検討

住友大阪セメント株式会社 ○小出貴夫
東京大学生産技術研究所 岸安 利台 治浩

第2会場

10:45~12:00 研究発表 2207~2211

[耐久性 (化学的侵食・溶脱)]

2207. コンクリート中の粗骨材量が硫酸劣化の進行速度に及ぼす影響

広島大学大学院 河合研至
広島大学工学部 ○波多野裕侍
広島大学大学院 大亀寛

2208. 配合および養生方法がモルタルの硫酸侵食速度に及ぼす影響

岡山大学大学院 ○藤井隆史
ランデス株式会社 Paweena Jariyathitipong
細谷多慶
岡山大学大学院 綾野克紀

2209. カルシウム溶脱を考慮したセメント硬化体の物質移動予測モデルの構築

北海道大学工学部 ○村上祐翔
北海道大学大学院工学院 青山琢人
北海道大学大学院 胡桃澤清文
北海道大学大学院工学研究院 名和豊春

2210. セメント硬化体と塩化カルシウムの反応により生成する複塩の生成条件と体積変化に関する検討

太平洋セメント株式会社 ○久我龍一郎
森小川寛晃
小川彰一

2211. 塩化カルシウム溶液によるセメント硬化体の劣化メカニズム

太平洋セメント株式会社 ○森久晃
小川我龍一郎
金沢大学大学院 小久保善司

<昼休み 12:00~13:15>

<昼休み 12:00~13:15>

第3会場

10:45~12:00 研究発表 2307~2311

〔コンクリートの物性（ひび割れ・膨張）〕

2307. 膨張材のひび割れ低減効果に関する研究

太平洋セメント株式会社	○石井祐輔	三谷村一	谷村充平
名古屋大学環境学研究科	丸山		

2308. 骨材種類・粒径が乾燥を受けるコンクリート中のひび割れ分布と骨材周辺のひび割れに及ぼす影響の評価

名古屋大学工学部	○篠野宏	丸山一	平
名古屋大学大学院			

2309. 各種骨材を用いたモルタルの乾燥収縮ひび割れ特性

大分大学大学院	○蔣海燕	大分大学工学部	佐藤嘉昭
株式会社ゼロテクノ	上田賢		

2310. 高炉セメントモルタルの破壊エネルギー

住友大阪セメント株式会社	嶋良毅	佐藤良恵	藤橋泰文
	○棚		

2311. 蒸気養生を行ったPCa部材における膨張材の性能評価

丸栄コンクリート工業株式会社	○阪口裕紀	野中俊之	小澤満津雄
岐阜大学工学部	森本博		

第1・2会場

13:15~14:45 セメント協会挨拶
論文賞表彰式
論文賞受賞者記念講演

〈休憩 14:45~15:00〉

15:00~16:30 特別講演
日本文明とインフラ・ストラクチャー
公益財団法人リバーフロント研究所
代表理事 竹村 公太郎 氏

(終了 12:00)

(終了 16:30)

5月31日(木)

第1・2会場

9:00~10:30 基調講演
サステナブル社会へのコンクリートの
貢献に向けて

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
野口 貴文 氏

〈休憩 10:30~10:45〉

10:45~12:00 研究発表 3101~3105

[環境・リサイクル]

3101. 解体コンクリートの曝露条件によるCO₂固定量の相違

広島大学大学院工学研究院 河 合 研 至
広島大学工学部 ○赤 崎 大 希
広島大学大学院 澤 井 浩 士

3102. 塩分を含有する低品質骨材を用いたコンクリートの
基礎的性状の把握

金沢工業大学大学院 ○田 端 辰 伍
宮 里 心 一
東亜建設工業株式会社 羽 淵 貴 士
網 野 貴 彦

3103. 石炭ガス化溶融スラグを用いたコンクリートに関する
基礎的研究

呉工業高等専門学校 ○堀 口 至
白 井 敦 士
中国電力株式会社 渡 邊 勝
杉 原 聡

3104. 銅スラグを用いたコンクリートのフライアッシュ利
用による性能向上に関する研究

株式会社四国総合研究所 ○石 井 光 裕
香川大学工学部 出 口 恒 太
三菱マテリアル株式会社 堺 孝 司
阿 部 信 二

3105. グルコン酸ナトリウムを用いたセメントリサイクル
に関する基礎的研究

東京工業大学大学院 山 田 将 人
○新 坂 井 大 軌
坂 井 悦 郎
宮 内 雅 浩

〈昼休み 第1会場 12:00~13:15
第2会場 12:00~13:00〉

第3会場

10:45~12:15 研究発表 3301~3306

〔混合セメント、混合材〕

3301. Influence of Alite content in clinker on the hydration of Blended cement

Tokyo Institute of Technology ○Siribudhaiwan Norrarat
 Daiki Atarashi
 Masahiro Miyauchi
 Etsuo Sakai

3302. 分子構造の異なる分散剤を添加した混合セメントの流動性

東京工業大学大学院 ○佐々部 智 文
 新 大 軌
 竹本油脂株式会社 玉 木 伸 二
 東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎

3303. 鉱物組成を調整したクリンカーを用いた高炉セメントの特性

株式会社アイ・シイ ○谷田貝 敦
 二 戸 信 和
 足利工業大学工学部 宮 澤 伸 吾
 東京工業大学大学院 坂 井 悦 郎

3304. 高C₃A型混合セメントを使用したコンクリートの物性

宇部興産株式会社 ○三 隅 英 俊
 丸 屋 英 二
 高 橋 俊 之

3305. 石灰石微粉末を利用した環境負荷低減型高炉セメントのコンクリートとしての諸物性

三菱マテリアル株式会社 ○西 田 豊 一
 高 尾 昇
 中 西 陽一郎
 田 中 幸 生

3306. 高炉スラグ微粉末の特徴を最大限に活かした三成分系セメントの提案に向けた一考察

芝浦工業大学工学部 ○伊代田 岳 史
 高 橋 佑 輔
 芝浦工業大学大学院 村 上 拡 理
 豊 村 恵

〈昼休み 12:15~13:15〉

5月31日(木)

第1会場

13:15~14:30 研究発表 3106~3110

[環境・リサイクル、その他]

3106. 実焼却廃棄物を混入したOPC-BFS-AH系材料の重金属固定化に関する研究

電気化学工業株式会社 ○福永隆之
東京工業大学大学院 大即信
新潟大学工学部 斎藤豪
鹿児島工業高等専門学校 前野祐二

3107. Ca(OH)₂を溶脱させたセメント硬化体中における鉛及び亜鉛の拡散と固定に関する研究

広島大学大学院 河合研至
高谷隼人
○林明彦
広島大学工学部 横山晋矢

3108. セメントペーストによる六価クロム固定量試験と熱力学連成解析を用いた不溶化汚染土の溶出解析

東京大学大学院 ○高橋佑弥
石田哲也

3109. 関東ロームの固化処理土の強度発現性に影響を及ぼす要因の検討

住友大阪セメント株式会社 ○佐藤貴宣
小山智芳
荒木一司
吉原正博

3110. 高炉スラグ微粉末大量で使用しモルタルの圧縮強度に及ぼすセメント種類の影響

大韓民国忠南大学校大学院 ○申荃秀
大韓民国忠南大学校工科大学 金圭庸
大韓民国浦項産業科学研究院 李勲河
大韓民国忠南大学校工科大学 金武漢

14:30~14:50 委員会報告
セメント系固化材技術専門委員会

<休憩 14:50~15:05>

第2会場

13:00~14:00 研究発表 3201~3204

[コンクリートの診断・補修]

3201. 散水によるコンクリート表層部の品質評価に関する基礎的検討

公益財団法人鉄道総合技術研究所 ○西尾壮平
上田洋治
東京大学生産技術研究所 岸利治

3202. AE法を用いた損傷コンクリートの定量評価に関する実証的研究

新潟大学大学院 ○山岸俊太郎
新潟大学自然科学系 鈴木哲也
熊本大学大学院 大津政康

3203. AU法を用いた補修コンクリートの再劣化に関する実証的研究

農村工学研究所 森充広
中嶋勇
渡嘉敷勝
新潟大学 ○鈴木哲也

3204. 表面改質を行ったモルタル中鉄筋の腐食環境検知に関する検討

金沢工業大学大学院 ○永井一徳
太平洋セメント株式会社 宮里心
江里口玲
佐藤達三

<休憩 14:00~14:15>

第3会場

13:15~14:45 研究発表 3307~3312

〔混合セメント、混合材〕

3307. 粗粒フライアッシュを用いた高強度セメントの流動性と水熱反応

東京工業大学大学院 ○齊 藤 美 来
 新 澤 大 軌
 中 井 拓 也
 坂 井 悦 郎

3308. フライアッシュの活性度指数についての基礎検討

電源開発株式会社 ○石 川 嘉 崇

3309. フライアッシュを少量混合した普通ポルトランドを用いたコンクリートの性能に関する研究

香川大学工学部 岡 田 卓 也
 香川大学大学院 ○山 口 聖 治
 香川大学工学部 堺 孝 司
 株式会社四国総合研究所 石 井 光 裕

3310. セメント混合材が打設・養生温度の異なるコンクリートの強度発現に与える影響

住友大阪セメント株式会社 ○亀 島 博 之
 中 村 士 郎
 鈴 木 宏 信
 岡 本 英 明

3311. 蒸気養生工程がフライアッシュセメントの水和反応に及ぼす影響

日本大学大学院 ○鏡 健 太
 日本大学理工学部 佐 藤 正 己
 梅 村 靖 弘

3312. 石灰石微粉末の置換率が異なるモルタル供試体の乾燥収縮および強度発現に関する研究

名古屋工業大学大学院 ○太 田 健 司
 吉 田 亮
 梅 原 秀 哲
 中部採石工業株式会社 牧 宗 一 郎

〈休憩 14:45~15:00〉

5月31日(木)

第1会場

15:05~16:35 研究発表 3111~3116

[分析技術]

3111. 内標準を使用しない粉末X線回折/リートベルト解析による高炉セメント中のスラグ量の定量

三菱マテリアル株式会社 ○中 西 陽一郎
田 中 久 順
山 下 牧 生

3112. 画像解析による三成分系混合セメントの解析に関する基礎的検討

太平洋セメント株式会社 ○扇 嘉 史
Colin Leung
北 澤 健 資
小 川 彰 一

3113. 水とシクロヘキサンを併用したサーモポロメトリーによる細孔構造解析

東京工業大学 ○杉 山 友 明
新 大 軌
宮 内 雅 浩
坂 井 悦 郎

3114. サーモポロメトリーを用いたセメント硬化体の細孔構造解析

北海道大学工學院 ○栗 山 広 毅
黒 澤 利 仁
後 藤 卓 春
北海道大学工学研究院 名 和 豊

3115. ブリーディングがセメントペースト硬化体の微細構造に及ぼす影響評価

北海道大学大学院工學院 ○石 垣 邦 彦
北海道大学大学院工学研究院 胡桃 沢 清 文
名 和 豊 春

3116. 養生条件および水セメント比の異なるOPCペースト硬化体における吸水・乾燥特性および透気性の空隙構造に基づいた検討

名古屋工業大学大学院 ○落 合 昂 雄
吉 田 亮 亮
東京大学生産技術研究所 岸 利 治

(終了 16:35)

第2会場

14:15~15:15 研究発表 3205~3208

[コンクリートの診断・補修]

3205. けい酸塩系表面含浸材の塗布時期がコンクリートの物質移動に及ぼす影響

東京理科大学理工学部 ○染 谷 望
三 上 宏 之
三 田 勝 也
加 藤 佳 孝

3206. 石綿セメント管の定量的損傷度評価に関する実証的研究

株式会社日本水工コンサルタント ○石 橋 正 和
加 藤 強
千代田 淳
新潟大学自然科学系 鈴 木 哲 也

3207. 造膜過程で材料分離の生じたポリマーセメント系塗膜防水層の微細構造と耐ひび割れ性の関係

徳島大学大学院 ○塚 越 雅 幸
中 森 正 基
東京工業大学大学院 上 田 隆 雄
田 中 享 二

3208. ポルトランドセメントを基本とする低コスト補修・補強モルタルの試作

大分工業高等専門学校 ○一 宮 一 夫
〈休憩 15:15~15:30〉

15:30~16:30 研究発表 3209~3212

[化学混和剤、骨材]

3209. 分散剤の化学構造と炭酸カルシウム粒子表面の吸着サイトが分散剤の吸着挙動に及ぼす影響

北海道大学大学院工學院 ○森 田 大 志
後 藤 卓 卓
北海道大学大学院工学研究院 名 和 豊 春

3210. 砂岩系骨材の品質評価に関する基礎研究

名古屋大学大学院 丸 山 一 平
名古屋大学工学部 ○西 岡 由 紀 子
名古屋大学大学院 五十嵐 豪
ブルカー・エイエックスエス株式会社 杉 山 毅

3211. けい酸塩系表面含浸材の改質効果の評価方法に関する一考察

金沢大学大学院 ○渡 辺 晋 吾
五十嵐 心 一

3212. フライアッシュ用添加剤による初期強度増進に関する研究

グレースケミカルズ株式会社 ○宮 川 美 穂
西 村 正
岩 城 圭 介

(終了 16:30)

第3会場

15:00~16:30 研究発表 3313~3318

〔混合セメント、混合材、その他〕

3313. 循環流動層ボイラー灰-高炉スラグ微粉末硬化体の強度発現と水和反応

日鐵セメント株式会社 室蘭工業大学 室蘭工業大学大学院	○佐川孝広 柏熊一輝 山下一紘太郎 濱幸雄
-----------------------------------	--------------------------------

3314. ゼオライト混入による耐ひび割れ性能の向上に及ぼす高炉スラグの影響に関する検討

中央大学理工学部 電気化学工業株式会社 五洋建設株式会社	○看舎秀明 大下英吉 庄司慎史 保木本智
------------------------------------	-------------------------------

3315. 火山灰の特性と反応性

北海道立総合研究機構	○谷口 円 桂原康之 垣橋 徹 高 橋
------------	------------------------------

3316. 高炉スラグセメントペーストの電気伝導性と微細構造

北海道大学大学院工学研究院	○胡桃澤清文 名和豊春
---------------	----------------

*3317. セメント系硬化体の電気抵抗とその影響因子に関する基礎的検討

新潟大学大学院 新潟大学工学部	○菊地道生 金沢貴良 佐伯竜彦 斎藤 豪
--------------------	-------------------------------

3318. 高水セメント比コンクリート硬化体における圧縮特性の一考察

立命館大学大学院 立命館大学理工学部	○小野亮 松田智成 明石知樹 岡本 享久
-----------------------	-------------------------------

(終了 16:30)

● 特別講演 ●

日本文明とインフラ・ストラクチャー

公益財団法人リバーフロント研究所 代表理事 竹村 公太郎 氏

● 基調講演 ●

サステナブル社会へのコンクリートの貢献に向けて

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 野口 貴文 氏

● 協会からのお知らせ ●

5月29日（火）12：00～12：20

「セメント・コンクリート論文集」ならびに
「セメント技術大会・総合索引」のインター
ネット公開についてお知らせいたします。

● 委員会報告 ●

5月31日（木）14：30～14：50

セメント系固化材技術専門委員会

- ・東日本大震災の被害状況と地盤改良の効果について
- ・セメント系改良体の長期安定性(20年)に関する調査について

セメント・コンクリート論文集 No.66（2012年度）論文募集のご案内

セメント協会では、セメント・コンクリート論文集No.66（2012年度）に掲載するための論文を募集いたします。「セメント・コンクリート論文集投稿要領」および「セメント・コンクリート論文集原稿執筆要領」をご高覧のうえ、ふるってご応募下さい。

1. 論文の申込み

1.1 論文の申込み

セメント協会ホームページ [http://www.jcassoc.or.jp(イベント・募集>募集>セメント・コンクリート論文集)] から申込書ファイル (Microsoft Excel形式) をダウンロードし、必要事項すべてを明記のうえ、締切日までに「5. 提出および問合せ先 (事務局)」にE-mailの添付ファイルとして送信して下さい。

1.2 提出原稿 査読のための原稿4部 (「原稿執筆要領」を参照して下さい)

2. 論文投稿受付期間 2012年4月2日(月)～5月31日(木) 17時まで

3. 投稿のための費用 無料

4. セメント協会論文賞

セメント・コンクリート論文集 (過去2ヶ年<2冊>) に掲載された論文の中から特に優秀と認めた論文に対し、毎年『セメント協会論文賞』を授与いたします。

5. 提出および問合せ先 (事務局)

〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号

社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail : jca_event@jcassoc.or.jp

「セメント技術大会懇談会」のご案内

「第66回セメント技術大会」の開催に当たり、参加各位の交流を目的に下記のとおり懇談会を開催いたします。

発表者・共同研究者および一般聴講者の方々にも広くご参加をいただきたくご案内申し上げます。

記

1. 日 時：2012年5月30日（水）17時30分～19時
2. 場 所：ホテルメトロポリタン（3階富士）
3. 会 費：無料
4. 参加方法：・大会期間中、参加受付をされた方は、名札を付けたまま、ご来場下さい。
・懇談会のみ参加を希望される方は、当日の参加受付をお願いします。
5. 問合せ先：セメント協会 研究所 技術情報グループ
☎03-3914-2692 E-mail：jca_event@jcassoc.or.jp

ホテルメトロポリタン 案内図

東京都豊島区西池袋1-6-1
☎03-3980-1111

交通のご案内

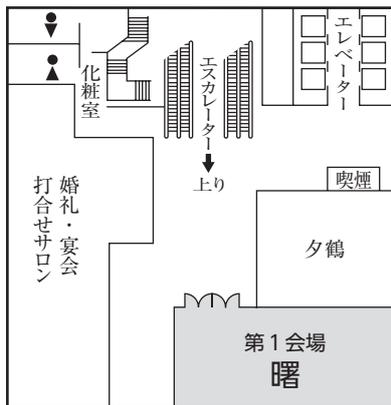
池袋駅西口から徒歩約3分

- JR 山手線, 埼京線
- 東京メトロ 丸の内線, 有楽町線,
副都心線
- 西武 池袋線
- 東武 東上線

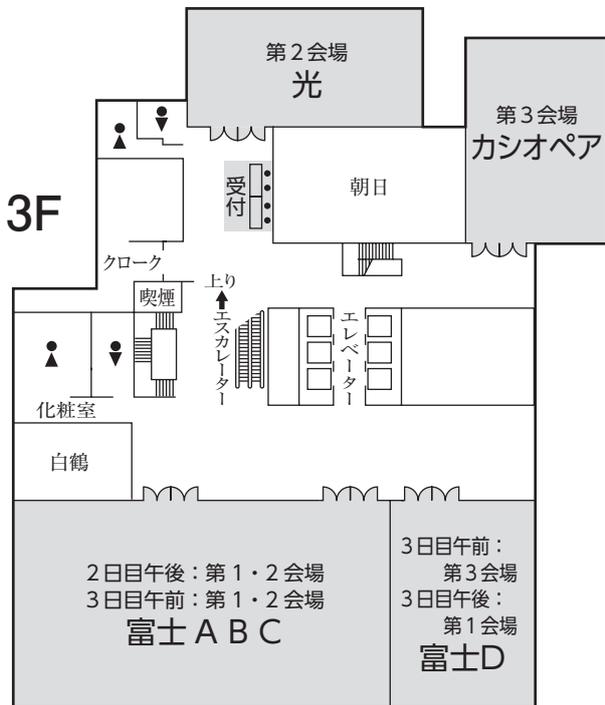


会場内案内図

2F



3F



セメント・コンクリート論文集 No.65 / 2011

Cement Science and Concrete Technology

A4判・573ページ・11,000円(税込)・送料実費

セメント技術大会での発表論文に限定することなく、広く公募した論文を、論文集編集委員会が厳選したセメント・コンクリート関係の論文78編を掲載。全ての論文に英語のABSTRACTを添えるとともに、巻末に著者名およびキーワード索引を加えて、検索しやすい構成にしています。



図書のご注文・
お問い合わせは

社団法人セメント協会 図書販売係

☎103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4 Daiwa日本橋本町ビル7階

☎03-5200-5053 FAX 03-5200-5062